

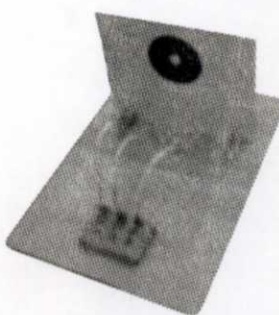
技術士
による

東日本
大震災
復興支援

こども
理科実験
教室 2017
REPORT

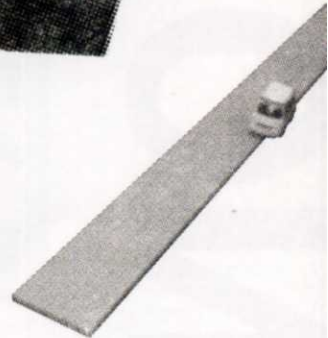


ほうこくしょ



THE SCIENCE
EXPERIMENT SCHOOL
FOR CHILDREN

主催：京都技術士会理科支援チーム
 後援：[福島県郡山教室] 郡山市教育委員会
 [岩手県大船渡教室] 大船渡市教育委員会
 [岩手県陸前高田教室] 陸前高田市教育委員会
 助成：公益社団法人 JR西日本あんしん社会財団
 独立行政法人 国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」
 第8回「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」市民団体助成



ご挨拶

私たち京都技術士会理科支援チームは、今年も東北で「東日本大震災復興支援こども理科実験教室」を開催しました。

今年は、主に行っている福島県だけでなく、三陸沿岸へと足を延ばし、岩手県でも行いました。福島県郡山市では、現地の要望が強く2年連続の開催となり、また岩手県大船渡市、陸前高田市では初めて開催しました。

私たちは、子どもの理科教育が科学技術立国を目指す我が国の根幹をなすものであり、この推進は教育現場、家庭のみならず、社会全体が応分に責任を負うべき課題と考えて活動しています。

一方、東日本大震災の被災地である東北地方は、被災7年目を迎えてなお復興途上にあります。特に沿岸部は今でも多くの重機作業や運搬車両が行き交う状況が続いています。

教室では、種々の専門分野の技術士が、自分自身の経験と専門知識をもとにした手作りのカリキュラムによって、理科実験を子ども自身に体験してもらいます。これを通じて、子どもたちの好奇心と探究心を喚起することが復興への一助となるとともに、東北、ひいては日本の将来を支える理科好きの子どもたちの育成につながると考え、震災の翌年(2012年)から、毎年、この教室を開催しています。

第1回は宮城県(七が浜町、仙台市)で行いましたが、第2回以降は、福島県で開催しています。一昨年の第4回はいわき市で行い、昨年の第5回は郡山市で行いました。今年も引き続き郡山市にて、郡山市教育委員会の後援、福島県議会議員の方々の後押し、また各助成団体(公益社団法人 JR西日本あんしん社会財団、独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」、第8回「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」市民団体助成)および地元有志の絶大なご協力を得て、2日間で延べ138人の子どもたちが参加し、子どもたちの笑顔と歓声が忘れられない開催になりました。

また、今年も岩手県大船渡市、陸前高田市においても開催しました。教育委員会の後援、各助成団体のご協力を得て、延べ136人の子どもたちが参加し、岩手県三陸地方においても多くの方々の賛同を得られたと思っています。

関係各位のご協力に謝意を表しますとともに、以下に、教室の概要を報告します。

2017年11月

京都技術士会理科支援チーム

SUMMARY

[郡山教室概要]

| 教室 | 開催地 | 開催日 | 会場 | テーマ/講師 | 参加者数 (子ども) |
|---------------------|--------|---------|------------------------------|-----------------------------|---------------|
| 東日本大震災復興支援子ども理科実験教室 | 福島県郡山市 | 10/7(土) | 郡山市音楽・文化交流館 ミューカルがくと館大ホール | A.「水の不思議」 野田公彦 技術士 | ▶ 29人 |
| | | | | A.「望遠鏡を作ろう」 的場一洋 技術士 | ▶ 29人 |
| | | | | B.「おいしい水をつくってみよう！」 橋本隆 技術士 | ▶ 14人 |
| | | | | B.「タワシムシを作ろう」 桶屋眞士 技術士 | ▶ 14人 |
| | | | | C.「モビール(動く彫刻)をつくろう」 和田仁 技術士 | ▶ 15人 |
| | | 10/8(日) | | C.「微生物で‘はっこう’させよう」 堤浩子 技術士 | ▶ 15人 |
| | | | | D.「『ぶんせき』してみよう！」 伊藤玄 技術士 | ▶ 11人 |
| | | | | D.「にじはどうしてできるの」 田中宏 技術士 | ▶ 11人 |

TOTAL 138人



郡山教室終了後の京都技術士会理科支援チーム参加者集合写真

REPORT [郡山教室の様子]

10月7日(土) 郡山市音楽・文化交流館ミュージカルがくと館 大ホール 参加費：無料



【各教室の子どもたちの声】 A.水の不思議でいろんな色があり、とてもおどろいた。上下かさまだけはつきりみえたのでよかった。A.ぼうえんきょうが、こんなにかんたんに作れるとは、思わなかった。B.よごれた水をきれいにする方法が分かってよかった。分かって、水をよごさないことが一番!!ぼう遠鏡が、上、下、左、右はなんて初めて知りました。B.タワシムシを家でも作ってみたいと思いました。

A 「水の不思議」 10:00~11:00
□ 野田公彦 技術士 [化学、総合部門]

水を汚したり、濁った水をきれいにしたたり、水を固めたりする実験で、水と環境の大切さを考えます。

A 「望遠鏡を作ろう」 11:10~12:20
□ 的場一洋 技術士 [原子力・放射線部門]

ポテトチップスの空き箱にレンズをセットして、望遠鏡を作り、ハッブル望遠鏡などいろいろな望遠鏡についても勉強し、宇宙について考えます。

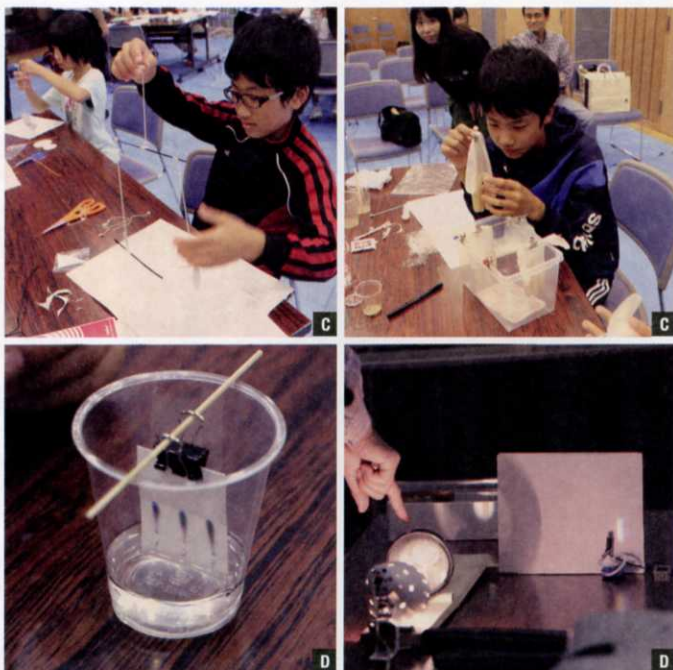
B 「おいしい水をつくってみよう！」 13:40~14:40
□ 橋本隆 技術士 [上下水道部門]

飲み水をつくり方を、いろいろな実験をしながら学びます。また、水の大切さを学びます。

B 「タワシムシを作ろう」 14:50~16:00
□ 桶屋眞士 技術士 [建設部門]

亀の子(カメノコ)タワシとモーターを使って、タワシムシを作ろう。モーターを回すと虫みたいに動くよ。

10月8日(日) 郡山市音楽・文化交流館ミュージカルがくと館 大ホール 参加費：無料



【各教室の子どもたちの声】 C.あんがいかんたそうに見えるモビールを作ってみたら、意外にむつかしかった。主食のパンが、このような感じでできていて、びっくりしました。C.せわをして、はっこうさせれば、たべ物は、おいしくなることがわかりました。D.分せきしてみようでは、色にはいろいろな色を組み合わせでできるのが分かった。D.かみコップでまんげきょうをつくれたりしてたのしかった。

C 「モビール(動く彫刻)をつくろう」 10:00~11:00
□ 和田仁 技術士 [金属部門]

針金ハンガーと紙バックから動く彫刻(モビール)を自作し、バランスのとれたかを体験します。

C 「微生物で「はっこう」させよう」 11:10~12:20
□ 堤浩子 技術士 [生物工学部門]

身近な微生物である酵母が炭酸ガスを発生する様子を観察し、発酵と微生物の大きさについても勉強します。

D 「「ぶんせき」してみよう！」 13:40~14:40
□ 伊藤玄 技術士 [化学部門]

サインペンの色がどのように分かれるか、ろ紙をつかって実験やクイズをしながら分析します。

D 「にじはどうしてできるの」 14:50~16:00
□ 田中宏 技術士 [電気電子部門]

虹を見ることができる「分光器」を組立て、虹を作ってみます。

